

<目標分野> ※該当するものに全て印

<目標内容>

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

- 1 保存・継承 空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し、礼節を重んじる精神性が正しく次世代へ継承
2 普及・啓発 環境変化を的確に捉えた施策の推進により、世界の空手家が「空手発祥の地・沖縄」を認識
3 振興・発展 空手家が豊かな人生を歩む「空手の聖地・沖縄」が確立、空手による産業振興
【成果目標】県外・海外からの空手関係者来訪数 10,500人（2022年度）

<PRポイント>

- ① 【沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流】…世界大会や空手の日記念演武祭等の世界レベルの大会や国際的なイベントの実施
（令和4年は第2回沖縄空手世界大会・第1回沖縄空手少年少女世界大会及び空手一斉演武のギネス更新を予定）
② 【空手を活用した産業の創出・振興】…空手を組み込んだ体験型観光プログラムや商品等の開発支援

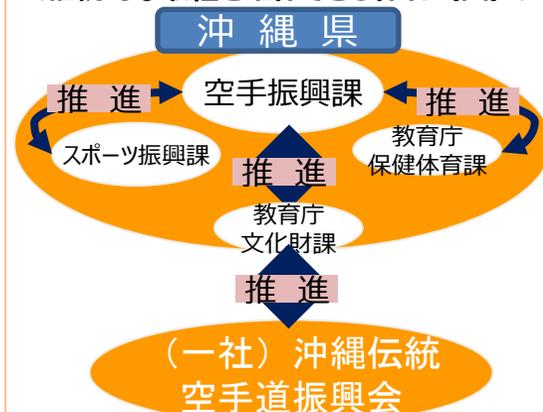
世界大会



一斉演武



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：文化観光スポーツ部
 - 地方スポーツ推進計画：沖縄県スポーツ推進計画（平成25年3月）
 - 地方版総合戦略：沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画（令和2年3月）
 - 地域スポーツコミッション：スポーツコミッション沖縄（2015から本格稼働）
 - ホストタウンの相手先：0
 - その他：
- 沖縄空手振興
ビジョンロードマップ
- 沖縄空手
振興ビジョン

<概要> 計画期間：沖縄空手振興ビジョン（2018年度～2037年度）ロードマップ第1期（2018年度～2022年度）

<現状・課題>

現状 沖縄を発祥の地とする空手は、世界に1億3,000万人の愛好者がいると言われており、空手の体験ツーリズムが盛んになっているとともに、世界に向けた普及が進展し、国際交流も活発。
課題 指導者及び後継者の育成、道場や空手関係団体の運営強化、認知度の向上、空手愛好家の受入体制の強化、空手関連産業という新たな沖縄型産業の創出等。

<総合的な取組内容>

■ 空手を軸としたマーケティング戦略の構築

「空手関連産業」の創出を図るため、空手を組み込んだ体験型観光プログラム商品等の開発を支援

- ・空手を目的とした交流人口の増加
- ・観光産業や商工業等関連産業への波及効果

→ 空手が沖縄経済を成長させる新エンジンに！



空手の魅力の向上・発信

関連産業の消費拡大

■ 空手の魅力を伝える演武会等の開催

（県外）沖縄空手の指導者等を国内外に派遣し、現地でのセミナー等を開催

（県内）世界レベルの大会の開催や沖縄空手の活用ニーズを有する団体へ指導者を派遣し技術指導等を実施



県内外における継続的な普及促進

※内閣府の沖縄振興特別推進交付金を活用

【フォローアップ欄】令和4年度以降における計画の進捗状況